

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL:055(254)8610・FAX:055(254)8614

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報誌です。

P2

【特集】 高校生の奮闘記 学び、育み、未来へつなげ!

職場体験事業

P4 ▶ あなたの求める職場を探してみませんか?

P6 ▶ 介護講座教室(学生対象 介護講座)
夏休み! 介護を体験してみよう

ボランティアトーク(NPO法人 ワークスコープおてっと)

P7 ▶ 利用者の気持ちに寄り添った支援で、地域に貢献する歓び

P8 ▶ 介護に役立つワンポイントアドバイス

P9 ▶ いきいきライフ

P10 ▶ 地域を支える・みんなの地域福祉

P11 ▶ 福祉施設訪問(乳児院 ひまわり)

P12 ▶ 山梨県社会福祉協議会広報委員会

P13 ▶ 福祉人材センターニュース

P14 ▶ 福祉用具紹介

介護…それは、誰かを笑顔にできる素晴らしい仕事

山梨県立甲府城西高等学校 3年次 人文社会系列専攻 近藤 雪乃さん

中学生の頃、ボランティアで特別養護老人ホームへ行った時のことです。朝のミーティングに参加させていただいたのですが、最初は無表情な高齢者の方が多かったですね。それが、介護士さんが歌を歌ったり、鈴や太鼓を演奏したりするうちに、みるみる笑顔になっていったんです。それを見て、すごいなぁと思い、私も、誰かを笑顔にする仕事がしたいと思うようになったことが、福祉を志すきっかけになりました。福祉系の大学への進学を考えたこともありましたが、介護施設やグループホームでの実習やインターンシップを経験した今は、介護施設に就職し、現場で経験を積みながら学びを深めて、介護福祉士の資格取得を目指したいと思っています。

卒業後は、高齢者福祉施設で力を尽くしたい

山梨県立甲府城西高等学校 3年次 福祉生活科学系列専攻 村松 春花さん

中学生の頃から興味があった福祉の勉強がしくて、甲府城西高校に進学しました。高校に入ってから、インターンシップや実習などで介護施設やデイサービスセンターに何度か行かせていただいたのですが、高齢者の方々は、些細なことでも何かサポートするたびに、笑顔で「ありがとう」と言ってくださるんです。とても嬉しく、皆さんの笑顔が心に残りました。もちろん現場に入れば、きびしいこともあります。介護というのは、それを差し引いてもやりがいのある、素晴らしい仕事だと感じています。高校で学びながら目指してきたホームヘルパー2級も、あと少しで取得できます。卒業後は、ぜひ高齢者福祉施設で力を尽くしたいです。

聴覚障害者と健常者を結ぶ、 “手話通訳士”を目指しています。

山梨県立甲府城西高等学校 福祉生活科学系列専攻 3年次 植田 瞳さん

私の母は聴覚障害者です。母は、1対1ならば読唇術や筆談などでコミュニケーションを図ることができますが、授業参観や習い事の発表会などでは寂しそうでした。そんな母が、あるとき手話で知らない人と楽しそうに話をしていたんです。驚きました。小さい頃から使ってきた手話に、見ず知らずの人を笑顔にする力があるなんて思ってもみなかったのですから。以来、聴覚障害者と健常者の間に立って、両者をつなぐお手伝いができる仕事に就きたいと願うようになり、そのためにまずは福祉の勉強をしようと甲府城西高校に来ました。福祉の事を広く学べたことで、視野も広がったように感じます。卒業後は専門学校に進み、手話通訳の資格取得を目指したいと思っています。



学び、育み、未来へつなげ！

さまざまな体験を通して芽生えた、福祉の心。

まっすぐな眼差しで、福祉を目指す生徒たち。
現実に負けず志を貫いて、未来を創って欲しいですね

山梨県立甲府城西高等学校 相川 恵子先生

現在、福祉を学べる高校は県内に数校しかありません。甲府周辺の県立高校では本校のみということもあり、毎年、明確な目標を持った子が20名ほど入学してきます。彼らに共通しているのは、ある種の信念を持っていること。まっすぐな目で「お年寄りを笑顔にしたい」「体の不自由な人の役に立ちたい」と語る姿には心を打たれます。

一方、福祉・介護の現場では、求職者が抱くイメージと実際の職場のギャップが大きく、それが高い離職率につながるなど、さまざまな課題があるのも事実です。

そこで、本校では、福祉に関する知識や技能を学ぶ専門科目や、現場で働く方や身体の不自由な方をお招きしての授業などを通して、厳しい現実も教えています。高校は猶予期間。生徒は、自分が本当に福祉に向くのかを見極め、向かないと思えば別の道へ進めばいいのです。ただ、実際には、ほとんどの子は希望を胸に突き進んで行く。それほど、福祉に対して、純粋で強い気持ちを持っている子が多いんですね。

今、即戦力を求めておられる福祉・介護の現場の方々にとっては、頼りない存在かもしれません。でも、彼らの中に芽生え、育まれつつある福祉マインドは、彼らの将来へとつながり、日本の福祉の未来を作る糧になるはず。できれば、もう少し余裕を持って受け入れていただき、就職後も成長できる環境を与えてもらえるようになるとありがたいなと思います。

山梨県福祉人材センターでは、学生のためのさまざまな支援活動を行っております。その一部を紹介します。

● 介護福祉士等修学資金貸付制度

県内の介護福祉士等養成施設で学ぶ学生を対象に、介護福祉士や社会福祉士を目指す学生を応援するため、修学資金の貸付を行っています。

● 「福祉の仕事セミナー」基礎知識の学習と施設体験

福祉の仕事を目指している高校生を対象に、施設体験・説明を通じて福祉の仕事への理解を促進しています。また、進路指導担当教諭に対して、県内の福祉系大学や専門学校等との情報交換の場を設けています。

● 学生の就職・進学を支援

福祉・介護関係の施設・団体などに参加いただき、学生を含め、福祉関係の仕事に就きたい方を対象に「福祉の就職総合フェア」や「福祉のしごと就職講座」など、さまざまな就職に関する支援を行っています。

※詳しくは、県社会福祉協議会 福祉人材センター（☎055-254-8654）までお問い合わせください。

職場体験 事業

あなたの求める職場を 探してみませんか？

福祉・介護の現場では、求職者が抱くイメージと、事業主が求める人材像に大きな違い（ギャップ）があることがさまざまな調査・研究によって指摘されており、このことが離職の一因とも考えられています。

こうしたことから、福祉人材センターでは、平成21年度より、福祉・介護の仕事に関心を持つ人に実際の職場を体験する機会を提供する「職場体験事業」を実施しています。求職者は職場の雰囲気やサービス内容などを肌で感じることができます。事業所にとってはPRや、就労希望者の性格・適性などを見ることができ貴重な機会となります。ぜひご利用ください。

◆対象者

- ▽福祉・介護の仕事に関心があり、就労を希望している方（高校生・大学生等を含む）
- ▽資格を取得したが、就労に結びつかない未経験者、あるいは就労に不安のある方
- ▽福祉・介護の仕事経験はあるが、別の福祉・介護分野を体験したい方 など

◆受入事業所

山梨県内にあり、職場体験者の受け入れを希望する高齢者、障害者、児童の各分野の事業所。
現在160余の事業所が受入事業所として登録されています。

◆体験日数及び受入期間

- ▽体験時期・日数
体験者の要望、受入事業所の状況により柔軟に対応します。
- ▽体験受入期間
平成25年2月28日（木）までの平日（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

◆体験内容

受入事業所が、資格や就労経験など体験希望者の状況を考慮して、体験プログラムを作成します。

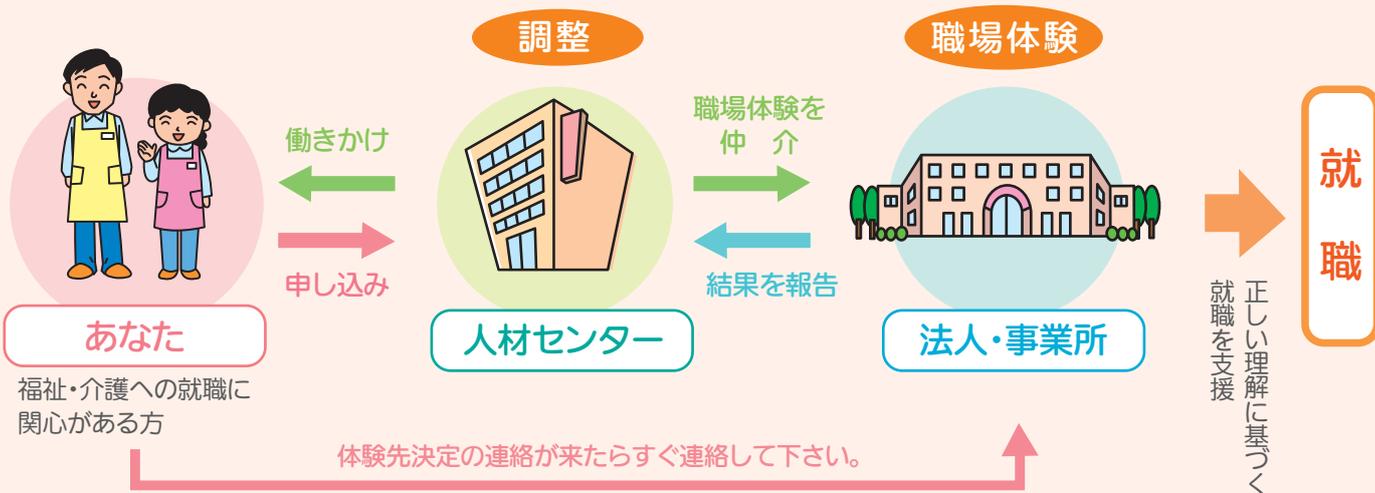
◆費用

体験希望者は、原則無料です。
（万一の事故に備え、当センターの費用負担で損害保険に加入します。）

◆体験後のフォローアップ

体験終了者全員に、必要な資格や仕事への取り組み方に関するアドバイスなどを記載した「アドバイス表」を送付します。また、求職活動を継続して行う場合には、無料職業紹介なども行います。

職場体験事業 イメージ図



問い合わせ 申し込み先

山梨県福祉人材センター
開所時間 月～金 午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始12/29～1/3を除く）
所在地 甲府市北新1-2-12 福祉プラザ4階
電話 055-254-8654

高齢者とその家族の なんでも相談

山梨県高齢者総合相談センター

高齢者や家族の抱かえる保健・医療・法律などの心配事、悩み事に対する相談、高齢者に係わる福祉・医療のサービス、施設などの情報提供を行っています。

一般相談

※電話・来所どちらでも受付ます。

生活

家庭や生活の中での悩み、心配ごとなどの問題の相談

職業

高齢者に関する仕事の相談

健康

病気の予防、食生活などの相談

生きがい

仲間づくり、ボランティア活動など、社会参加などの相談



専門相談

※予約制です。まずお電話ください。

一般相談の中で、専門的な知識を必要とするものについては、各分野の専門家が相談に応じます

介護 看護

介護や看護に関する相談
保健師が相談に応じます。

法律

相続、契約、金銭貸借などの法律に関する相談
弁護士が相談に応じます。



職業体験のおかげで、
安心して就職。
毎日楽しく働いています。



田中 和恵 さん

「職場体験事業」を知ったのは、優和福祉専門学校に在学中、「福祉の就職総合フェア」に参加したときのことです。学校では高齢者関係の施設実習が多く、障害者関係の施設実習はあまりなかったので、よい機会だと思いました。

学生ということもあり、職場体験は夏休み中の2日間だけでしたが、事業所の雰囲気、職員の様子、利用者さんの状況などを実際に見たり肌で感じたりすることができました。また、私の疑問や質問に対する職員の皆さんの丁寧な対応や、体験最終日の反省会、終了後にいただいた「アドバイス表」などによって、イメージギャップを解消することもできました。実は、当時は卒業後の進路について迷っていたのですが、この体験によって自分の進む道がはっきりと決まったように思います。

おかげさまで、体験先のきぼうの家に採用していただき、1年以上が経ちました。学生時代の友達のなかには「イメージしていた職場と違う」とすでに転職した人もいますが、事前に職場体験できた私はそうした不満とは無縁で、今も毎日楽しく働いています。福祉関係への就職を希望する人はもちろん、就職に不安を感じたり進路に悩んだりしている学生さんにも、ぜひお勧めしたいですね。



ミスマッチが減少し、
採用活動の効率UP!



社会福祉法人山梨県社会福祉事業団 きぼうの家
受入担当者

以前は面接のみで採用を決めていたのですが、職員が思うように定着せず、なかには勤務初日で辞職する人もいました。また、勤務態度や適性に問題のある人を採用してしまったこともあり、職員の採用は頭の痛い問題でした。

ところが、就職志望者に職場体験をお願いするようになってからは、ミスマッチが起りにくくなりました。実際、体験後に採用した職員は1年以上定着して勤務しており、就職希望者と事業所が「職場体験事業」を通して互いにギャップを解消することが、円滑な採用活動につながっていると実感しています。

☎ 055-254-0110

社会福祉法人

山梨県社会福祉協議会

相談無料

秘密厳守

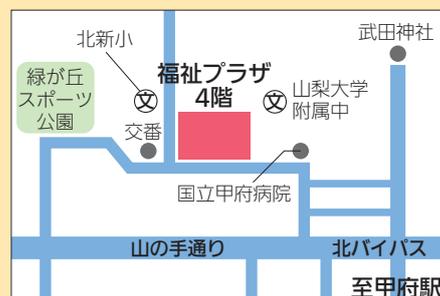
※市町村の相談体制の支援も行っています。

一般相談 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

専門相談 【介護・看護】月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

【法律】毎週水曜日 午後1時～午後4時

※祝日・年末年始（12月29日～1月3日）はお休みです。



山梨県高齢者総合
相談センター

〒400-0005
甲府市北新一丁目
2番12号
(福祉プラザ 4階)

夏休み！介護を体験してみよう。

小学生向け『夏休み小学生介護講座』、中・高校生向け『青少年介護講座』を開催します。



福祉用具の体験



高齢者疑似体験



福祉用具の製作

近年、核家族が進むなかで、お年寄りと身近に接することの無いまま成長する子ども達が増えています。そのため、社会に出てから仕事でお年寄りと接することになると、お年寄りと何を話せばいいのか、どう接すればよいか深刻に悩んでしまう若者が増えているとも言われます。

もうすぐ始まる夏休み。県立介護実習普及センターでは、今年も子ども達に、高齢者や体の不自由な人の心と体について学んでもらえるよう、『夏休み小学生介護講座』『青少年介護講座』を開催します。夏休みの思い出作りや自由研究の参考にもなります。ぜひご参加ください。

夏休み小学生介護講座

日時：7月26日(木)・8月6日(月)

午前コース：午前9時30分～12時

午後コース：午後1時～3時30分

- 「お年寄りってどんな感じ？」のお話
- 高齢者疑似体験
～お年寄りについての学習ノートの作成～
- 福祉用具の体験と製作 など

青少年介護講座

日時：7月25日(水)・8月7日(火)・9日(木)・17日(金)

20日(月) 午前9時30分～午後4時

- 高齢者疑似体験とグループワーク
- 福祉用具の見学と製作 など

※詳しくは、お問い合わせください。

高齢者疑似体験

おもりやサポーター、耳栓、ゴーグルなどを身体に着け、高齢者や体の不自由な人と同じような状態になって、洗濯物を干す、新聞を読む、買い物をするなどの生活動作を行います。高齢者や体の不自由な人の不便さ、生活のしにくさなどを体験することで、どのような手助けを望んでいるのか、自分にはどんなお手伝いができるのかなど、身近にいる人の役割を考える機会にしていきます。

福祉用具の製作

展示室にある福祉用具を見学したり、介護用ベッドや電動車いすを実際に使ってみたりした後、指や腕が動かしにくくなった際に便利な道具の製作に取り組みます。参加した子ども達が、体験をふまえて、「身の回りがあると便利なもの」を創造できるような内容になっています。

デイサービスや介護施設などの普及により、介護が必要なお年寄りが、子どもと暮らす、共に過ごすということが少なくなっています。お年寄り子ども達のふれあいは、お年寄りにとって、とても良い刺激や喜びになるとともに、子ども達にとっても、思いやりや助け合いの心を育む貴重な機会になりますから、その意味では少し残念にも思われます。最近では、「コミュニティカフェ」という地域に暮らす人達が集うふれあいの場が増えてきています。今回の介護講座では直接お年寄りとおふれあうことはありませんが、受講後、お近くのコミュニティカフェに遊びに行くなど、今回の経験を活かし、積極的にお年寄りとおふれあうお子さんが増えてくれたら嬉しいですね。

■お問い合わせ・お申し込みは…

県立介護実習普及センター ☎055-254-8680
※受講料は無料。事前の申し込みが必要です。
(開催日の1ヶ月前より先着順)

8・9月 介護講座スケジュール お申し込み・お問い合わせ ☎055-254-8680

- 入門介護講座(高齢者疑似体験) 8月30日(木)・9月28日(金)
- 介護を支える保健医療福祉サービス 9月4日(火)
- 口の中の健康管理 9月6日(木)
- お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応 9月20日(木)
- お年寄りの排泄の問題とそのお世話 9月19日(水)
- お年寄りの食事のお世話 9月11日(火)・12日(水)・25日(火)
- 認知症サポーター養成講座 9月7日(金)

参加者の

声

昨年の『夏休み小学生介護講座』『青少年介護講座』にご参加された方々の感想です。

夏休み小学生介護講座の感想(保護者)

- 子どもに介護や認知症等を伝えること、説明するということは難しいです。自分で体験すること、実際にやってみる事で子ども達も理解できたと思います。
- 親子で参加させていただき、普段の日常の中では体験できないことの体験ができ、子どもだけではなく、私自身(保護者)も大変よい経験が出来ました。

青少年介護講座の感想

- 将来福祉の仕事を目指しているため、講座に参加をしました。高齢者の体験を通じ、私の中で新しい福祉についての発見ができ、今後活かしていきたいと思います。
- 一緒に暮らしている祖母のことを思いながら体験させていただきました。介護においてコミュニケーションの大切さを知ることができ、祖母やお年寄りに対する意識がとても高まりました。

利用者の気持ちに 寄り添った支援で、 地域に貢献する喜び

2004年、市民生協が主催した勉強会で知り合った仲間14人が集まって、地域に役立つ生きがいのある仕事をしたと設立した「ワーカーズコープおてっと」。「おてっと」は、「お手伝い」と「助っ人」を合わせた私たちの造語。甲州弁の「おやてっと（お手伝いの意）」にもつながるし、誰からも「おてっとさん」と気軽に呼んでもらえる、とってもいい名前でしょ」と朗らかに話す新藤美恵子さんは、設立当初からのメンバーのひとり。2007年にNPO法人を取得してからは、理事長として会の運営にも尽力してきました。

「世の中にはいろいろな境遇の方がいますよね。たとえば高齢者にしても、介護保険や行政による支援だけでは暮らして行くのが難しい方もいますし、若い世帯も、家族の誰かが病気になったり、妊娠中、子育て中など、誰かに助けてほしいと思うときってあるじゃないですか。私たちは、些細なことでも気軽に声を掛けられる暮らしの助っ人になりたいと思っています」と新藤さん。現在35名ほどのメンバーの多くは子育てに一息ついた40～60代の主婦で、看護師や介護福祉士、保育士、教諭といった資格を持つ人もいます。「一番大切にしているのは、安心して自分の家で暮らせるよう、利用者さんの気持ちに寄り添った支援をすること。お掃除にしても、料理の味付けにしても、自分流を押し付けるのではなく、利用者さんの声をじっくりと聞き、その人、その家のやり方に合わせるようにしています」。利用者本人も然ることながら、遠くに住むご家族や、介護保険事業所、市役所からの依頼も増えているそうで、「作業としては、掃除や食事作り、通院や入院中の付添いなど。庭の草取り、ペットの散歩なんて依頼も少なくありません。でもね、本当は話し相手が欲しいという人も多いんですよ」。勉強会を兼ねた月一度の定例会では、『終わってから、1時間ほどおしゃべりしてきた』なんて報告も珍しくないと笑う新藤さん。晴れやかな笑顔は、充実感で輝いていました。



NPO法人

ワーカーズコープおてっと

しんどう みえこ
理事長 新藤 美恵子さん

平成
16年

市民生協やまなしの支援を受け、出資、運営、労働を自分たちで担う「ワーカーズコープ」として設立。

平成
19年

NPO法人として活動を始める。

現在

甲斐市・甲府市を中心に、近隣の市町村において、生活援助から子育て支援まで幅広く活動を展開中。甲斐市すくすく赤ちゃん応援隊派遣事業との委託契約、ケアマネジャーや地域包括支援センターとの連携などにより、産後の支援や高齢者支援も積極的に行っている。

■お問い合わせ：NPO法人 ワーカーズコープおてっと
甲斐市中下条1858
☎ 055-267-0120・FAX 055-267-0121



専門家を招いての勉強会で
スキルアップ



イベントを行い、会員同士の
交流を図っています。

食中毒を予防しましょう

暑い季節は食中毒が起きやすくなります。
食べ物の取り扱いには、いつも以上に注意しましょう。

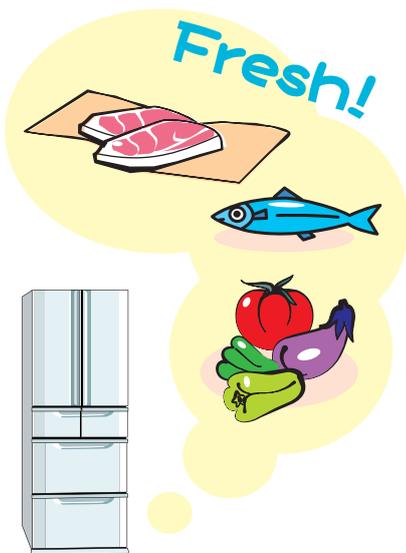
食中毒は、吐き気、嘔吐、下痢などの胃腸障害、しびれや麻痺などの神経障害を引き起こし、場合によっては死に至ることもある怖い病気です。体力があまりない幼児や高齢者は、重症化しやすく特に注意が必要です。

また、高齢者の場合には老眼や視力や嗅覚や味覚の低下から「消費期限や賞味期限が見えにくい」「色の変化やカビの発生に気が付きにくい」「嗅覚や味覚が鈍って、飲食物の傷みに気がつきにくい」などが考えられますので「食中毒予防10カ条」を守りましょう。

食中毒予防 10カ条

✓ 買い物で

- 1 鮮度が高くみずみずしいものを選び、食べきれ的分だけ買しましょう。
- 2 汁が漏れないよう、肉や魚はビニール袋に入れて持ち帰りましょう。
- 3 帰宅したら、冷蔵庫や冷凍庫へすぐにしまいましょう。



✓ 調理するとき

- 4 材料や調理器具、自分の手も、よく洗ってから調理を始めましょう。傷は菌やウイルスの温床です。手に傷があるときは、ビニール手袋を使いましょう。



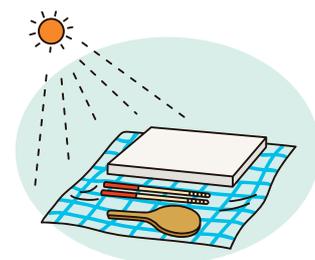
- 5 肉や魚と、野菜類は、別々に調理し、肉や魚の汁が他の食材にかからないよう注意しましょう。
- 6 生ものや生野菜は避け、中心までしっかり熱を加えましょう。
- 7 温かい料理は温かいうちに、冷たい料理は冷たいうちに、時間をおかず食べましょう。
- 8 食事用の箸でビン詰の保存食などを触らない。清潔な箸で食べる分だけを食卓へ出しましょう。

✓ 片づけと保存

- 9 冷蔵庫や冷凍庫を過信せず、作った料理は、たとえトロミ剤（増粘剤）を混ぜた料理であっても、その日のうちに食べきりましょう。



- 10 調理器具や食器は、洗剤でしっかりと洗い、流水で充分すすいで乾かします。鍋のふたやシンクも忘れず洗いましょ。



CHECK



下痢や嘔吐があるときは素人判断で投薬せず、医療機関で受診しましょう。便や嘔吐物には細菌やウイルスが大量に含まれていますので、処理する際にはゴム手袋を。汚物はビニールや古新聞で覆って捨て、床や壁を消毒します。汚れた衣服や寝具は他の物と分けて洗い、漂白剤で消毒して、天日で乾かしましょう。食中毒に「もったいない」は禁物。使った手袋やぞうきんも、惜しまず捨ててしまいましょう。



住宅購入に際し、火災よりも地震が心配なので、火災保険には入らずに地震保険を手厚くしようと思います。大地震で建物が全壊したときは、どの程度補償されるのでしょうか？



地震保険は単独では契約できず、火災保険に附帯してしか加入できない仕組みとなっています。地震保険の保険金額は、主契約である火災保険の保険金額の3割から5割の範囲内で設定しますが、建物につき5,000万円、生活用動産(家財)につき1,000万円が補償限度額となっています。地震保険で支払われる保険金は、地震保険契約で定めた保険金額と、損害の度合いの3区分(全損・半損・一部損)に応じて決まります。全損の場合には、建物の地震保険金額の全額(ただし、時価を限度とします。)が支払われます。

■地震保険とは

地震保険は、通常の火災保険で免責としている「地震・津波・噴火を直接または間接の原因とする火災・損壊・埋没・流失等の損害」を補償する保険です。民間保険会社だけでは発売できず、政府を再保険者として、共同運営する損害保険です。

地震保険は、火災保険とセットでしか契約できません。火災保険の契約時に地震保険に加入していなかった場合でも、火災保険の契約期間の途中に地震保険の契約をすることは可能です。ただし、地震警戒宣言が発せられるとその地域では地震保険に加入できなくなります。

保険料は、どこの保険会社でも同一ですが、地震発生リスクを考慮し、建物の所在地(1等地から4等地に区分)と構造などによって異なります。

■補償の内容・程度について

保険金額は、主契約の火災保険の保険金額の30%~50%でしか設定できず、建物につき5,000万円、家財につき1,000万円を上限とします。

保険金の支払いに対しては、被害の認定を迅速かつ公平に行うため、建物と家財につきそれぞれ損害の程度を3区分に類型化し、建物や家財の時価を限度として、全損の場合には保険金額の100%、半損の場合には保険金額の50%、一部損の場合には保険金額の5%が保険金として支払われます。

■通常より大きな補償が欲しい場合

一部の保険会社の保険契約では、地震保険で支払われる保険金と同額の補償を上乗せできる特約があるものや、地震の火災被害に限って最大100%補償する特約のある保険もあります。

いきいき
ライフ

地震保険は
どこまで
補償される？



★詳しくは… 山梨県高齢者総合相談センター ☎055-254-0110まで
(相談は無料です)

地域を **支** える

より身近になったボランティア活動

「市町村社協ボランティアセンター」の現状と取り組み

近年、私たちの身近な地域や学校、企業といった様々な場面で、福祉や環境、国際協力などの「ボランティア活動」に参加する方々が急速に増加しています。こうした「ボランティア活動」を支援・推進するため、市町村社会福祉協議会には「ボランティアセンター」（以下「社協ボラセン」）が設置されています。現在、県内の27社協のうち22社協に設置されています。

ボランティア活動の推進

例えば、甲府市ボランティアセンターでは、市内の4大学（山梨大・県立大・山梨学院大・山梨英和大）のボランティアサークル等で構成する「市内大学交流ネットワーク」を立ち上げ、同ネットワークと連携する中で学生ボランティアの活動を支援しています。また、中・高・大学生と障がい（児）者が交流するイベント「ふれあいチャレンジフェスタ」、体験型イベント「ボランティア博inこうふ」等を開催するなど、ボランティア活動の推進を図っています。また、他の社協ボラセンでも、子供達を対象とした「夏休みボランティア体験」、小学校と連携した「福祉教育の推進事業」、「災害ボランティアの養成研修」などを行っています。

社協ボラセンの支援

県社会福祉協議会は、社協ボラセンの全市町村設置を促進するとともに、ボランティアに関する各種情報の提供、コーディネーターの育成支援などを行っています。ボランティアの支援を希望される方、またボランティアとして活動を希望される方は、県社協、もしくはお住まいの“社協ボラセン”へお気軽にお問い合わせください。



ボランティアコーディネーターの研修



地域の子供達と交流する中学生

北杜市社会福祉協議会

みんなの
**地域
福祉**



北杜市社会福祉協議会では、市内の小・中学校との連携により、学童生徒のボランティア体験活動を推進しています。昨年度は小・中学生の夏休みを利用して「夏休みボランティア体験学習」への参加を呼びかけ、多くの児童、生徒が、施設で利用者さんと交流したり、福祉器具について学んだり、地域の高齢者へのプレゼントを作ったり等、様々なボランティア体験を行いました。

また来年も参加したい

小・中学生の
夏休みボランティア
体験学習



一緒に折り紙を楽しみました



お茶を入れるお手伝いをしました



手作りのうちわをプレゼント

市内の白州地区では、小・中学生が高齢者デイサービスセンターや知的障がい者施設を訪れ、昼食の配膳や軽作業の手伝い、レクリエーション交流などを通して、利用者さんと一緒に時間を過ごす中で福祉の心を学びました。参加した児童からは「初めは緊張したけれど、来年もまた参加したい」という声も聞かれ、今後の活動につながるきっかけにもなっています。

同社会福祉協議会の地域福祉課長の清水良憲さんは「今の地域社会は核家族世帯の増加により、子どもたちが高齢者とふれあう機会が減っています。社会福祉協議会がこうした体験学習を実施し機会を提供することで、子どもたちに『自分には何ができるか?』『どのように関わればいいのか?』を考えてもらいたい」と話しています。

また、今後も体験学習への積極的な参加を促し「自分の幸せと同じように人の幸せを願う」思いやりの気持ちを育ててもらいたいと考えています。同社会福祉協議会は今年度も事業の実施を予定しています。**詳細は北杜市社会福祉協議会**（☎0551-47-5202）までお問い合わせください。

福祉施設 訪問



乳児院 ひまわり

子どもには温もりのある家庭で、職員には笑顔で働きやすい職場として。

閑静な住宅地にあるかわいらしい家。ここが、今年4月に開設した県内2つめの乳児院「ひまわり」です。

「児童問題の多くは乳幼児期の生育環境や出生前の母子関係に起因しています。子ども達の命を守り、健全な親子関係を構築するためには、できるだけ早い段階での相談や支援が必要なのです」と話す理事長の小田切則雄さんは、長年にわたり児童福祉行政に従事し、児童相談所で虐待や里親、乳児ケアの相談を直接受けた経験も持つスペシャリスト。「心や体は、人のぬくもりを感じ、安心して暮らすなかで健やかに育まれていくもの。親と暮らせない子ども達にとっての“家庭”を作るとともに、周囲の田畑での農業体験やお祭りへの参加、老人クラブとの交流など、自然や地域の方々とのふれあいも大切にしていきたい」と意気込みます。

一方、「職員にとって優しい職場でもありたい」と話すのは、施設長の小田切良子さん。「難しい問題に直面することもあります。常にみんなが明るく笑顔でイキイキと働けるよう配慮するのも、私の大事な仕事ですからね」と、優しい笑顔が覗きます。

「子どもと親が共に幸せな人生を送れるような支援を」との思いから、7月には「こころとそだちの相談室 ぽーれ」も開設。子育て、発達、ストレスなど、さまざまな悩みを抱える人へと、サポートの輪を広げます。

施設概要

施設名	社会福祉法人 子育て・発達の里 乳児院 ひまわり
住所	〒400-0123 甲斐市島上条 1441 番地
電話	055-287-8087
F A X	055-267-0510
U R L	http://nyuzin-himawari.com
設立	平成 24 年 4 月 1 日
敷地面積	1,829.89 m ²
延床面積	524.77 m ²
建物構造	本館・小規模ユニット棟(鉄構造) 小規模グループケア棟(木造)
定員	10 名

～ちょっと寄り道～



荒川河川敷緑地公園

荒川河川敷緑地公園は、甲府市と甲斐市に流れる荒川の両岸に広がる広大な公園です。乳児院「ひまわり」からは、東へ歩いて3分ほどで千松橋から上流側の公園へと行くことができます。

園内では四季折々の自然や清流を愛でながらの散歩やジョギング、レクリエーションなどの場として親

しまれています。

また、春ともなれば、河川敷の土手に並ぶ70余本の桜が咲き誇る、桜の名所に。実はこの桜並木、この辺りが1521(大永元)年に武田軍と今川勢が激戦を交えた「飯田河原の合戦」の地と伝えられていることから、地元有志が周辺の美化と合戦による死者の霊を慰めようと昭和27年に植樹したと言われています。

小さな芸術家たち

「第31回児童文化奨励絵画展」から (全国児童養護施設協議会主催)

〈県代表作品〉

◇題名：「楽しかったながれるプール」

◇施設名：山梨立正光生園

◇学年：年中児

◇審査員のコメント：材料の使い方が大胆で子どもの表情が楽しい。



伝え、賛同してもらったために…

●山梨県社会福祉協議会広報委員会



地域福祉を通じて「県民の皆さまが安心して生活できるまちづくり」を目指す山梨県社会福祉協議会では、より多くの方々に地域福祉への関心を持っていただき、当協議会の活動にもご賛同いただけるよう、積極的な広報活動を推進していきたいと考えています。そのため、福祉関係者、市民活動団体、学識経験者など13名による広報委員会を設置し、さまざまな協議を継続的に行っています。

4月27日（金）、福祉プラザにおいて今年度の広報委員会が発足しました。小西順人委員長（山梨学院大学教授）をはじめ新しく委員になられた皆さんにより、本会の広報活動に関して闊達な意見交換がなされましたので、ここに、その一部を抜粋してご紹介します。

広報のあり方について

- 福祉関係者や介護などの当事者だけでなく、子どもからお年寄りまで、幅広い年代のさまざまな立場の方々に広く興味や関心を抱かせるような広報活動を目指すべきではないか。
- 「福祉」と聞くと、お硬いイメージを抱く人が多いように感じる。そのイメージを刷新できるような、斬新な広報活動が必要ではないだろうか。
- 介護保険は2000年に始まったが、12年経った今でも、一般的にはあまり認知が進んでいないように感じる。まずは介護保険のような基本的な部分から、広く知ってもらうための活動の必要性を感じる。
- 情報化社会が進むなか、広報にもタイムリーな情報発信が求められるようになっていく。福祉は幅が広い。広報誌だけに頼るのではなく、インターネットを積極的に利用するなど、発信する情報の内容や対象者に合わせた柔軟な展開を検討するべきだと思う。

広報誌「やまなしの福祉」について

- 現在の広報誌は、福祉関係者や介護が必要な方など、非常に狭い範囲の方々を対象にしているように思う。今は当事者ではない若い世代にも福祉に関心をもってもらうためには、広報誌の役割は重要。福祉関係者と一般の方との架け橋になるような、広報誌のあり方を探ってみてはどうか。そのためには、福祉とは直接関係のないコーナーがあってもいいように思う。
- 福祉の当事者になる前の若い世代や子ども達にも、手に取ってもらえるような広報誌を目指したい。
- 活動報告をするだけでなく、紹介することで問い合わせが増えるなど、実際の活動につながっていくような話題を積極的に取り上げてはどうか。
- 読み手のニーズをつかみ、そのニーズに対応した情報提供をしていくことが大切だ。今も読者の声を集めているが、今後はそうした声を誌面に反映したい。
- 配布先が幅広く、対象を絞りにくいかもしれないが、広く共感を得られるような内容を目指していきたい。
- 戸別配布しているわけではないので、一般の人には馴染みが薄いように感じる。広報誌自体をもっとPRし、さまざまな立場の人に見てもらえるようにしたい。

初委員会を終え、「13名の委員が力を合わせて、地道に知恵を出し合いながら、大変革をめざして精一杯頑張っていきます！」と力強く語った小西委員長。リニューアルされた広報誌「やまなしの福祉」とともに、今後の広報委員会の活躍にもご期待下さい。

耳より情報

『やまなしの福祉』は、広報委員会が中心となって編集している本会の広報誌です。昭和26年8月に創刊（創刊当時は、『山梨の社会福祉』）以来、県内の社会福祉に関する情報を発信し続け、本号が306号となりました。本会のホームページ【<http://www.y-fukushi.or.jp>】でも、2003年6月発行の255号以降のバックナンバーを含めご覧いただけます。



福祉人材センターは8月8日(水)アピオ甲府で「福祉の就職総合フェア」を開催します。県内で唯一の福祉・介護関係専門の就職相談会です。福祉・介護関係の仕事に就きたい人や関心のある方など、どなたでも参加することができます。参加費は無料です。求職者は事前の申し込みや登録も必要ありません。特に今後の進路についてお考えの高校生、大学生は是非ご参加ください。

求人事業所(福祉・介護人材を募集する社会福祉施設・団体・企業など約50施設参加予定)による合同面接会場では、人事担当者から直接話を聞くことができます。求職者にとっては、具体的な

仕事の内容や役割、雇用条件、働く環境など、さまざまな疑問に答えてもらうチャンスです。

面談は、時間の許す限り複数の施設とじっくり面談することが可能です。就職総合フェアをきっかけに、採用につながるケースも毎年、数多くあります。

また、資格取得方法など、各分野の専門相談に応じるコーナーも充実しています。福祉人材センターコーナーでは、求職登録や福祉の仕事が体験できる「職場体験(4・5ページ参照)」の申し込みも受け付けています。

なお、求人事業所は、事前の申し込みにより決定された事業所のみが参加が可能です。

福祉の就職総合フェア

inやまなし 夏 8月8日(水)



- ◆日 時 8月8日(水) 13:00~16:00
(受付12:00~15:30)
- ◆会 場 アピオ甲府(中巨摩郡昭和町西条3600)
- ◆参加費 無料

- ◆アクセス
 - ▽車でお越しの方は、中央自動車道甲府昭和ICから5分
 - ▽専用シャトルバス(無料)
 - JR甲府駅発(南口①②番バス乗場) 12:00と12:30発の2本
 - アピオ甲府 15:00と16:10発の2本

- ◆問い合わせ
 - 山梨県福祉人材センター(☎055-254-8654)
 - ▽参加事業所は、本会ホームページに7月中旬頃から随時掲載していく予定です。
 - 山梨県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp>)

◆主なコーナー

- ▽合同面接コーナー
職員採用計画や求人募集のある事業所の人事担当者とは個別に面談ができます。
- ▽種別施設相談コーナー
- ▽福祉の仕事なんでも相談コーナー
- ▽ハローワーク相談コーナー
- ▽関係機関相談コーナー
- ▽福祉人材センター登録コーナー

職場体験も受け付けます。

コミュニケーションに便利

自分の意思を伝えたり、相手の言葉を聞いたり、季節の便りをしたためたり…コミュニケーションは、円滑な日常生活に欠かせない大切な能力。毎日をより楽しく、充実させてくれるのも、家族や友人、ご近所の方々など、さまざまな人達との交流です。

最近では、加齢による機能低下を補ってくれる便利な機器が開発されています。上手に利用し、コミュニケーションを楽しみましょう。

1. 助聴器

小さなスピーカーのような機器です。「最近、耳が少し遠くなったみたい」と感じている方におすすめです。これを使えば、離れた場所にいる人との会話や、聞き取りにくい電話の声も聞こえやすくなります。

聴穴 (ちょうろく)



新型マイクを搭載により、よりクリアな音質を実現。スタイリッシュで握りやすいフォルムも人気です。

価格：21,000円 (税込)

聴子 (ちょうこ)



軽量で持ち運びに便利なタイプです。耳にあてると自動でスイッチが入り、離すと電源が切れる機能付き。

価格：19,740円 (税込)

2. 筆記用補助具

指先が震えたり、握力が弱くなったりして、筆記具を握れない、文字が書きづらいという人には、筆記用補助具がお勧めです。

ペンホルダーD



穴にペンを指し込み、本体に掌を乗せて、紙の上を滑らせるように動かしながら文字を書きます。左右どちらでも使えます。

価格：3,885円 (税込)



3. コミュニケーションロボット

人間とのコミュニケーションを目的としたさまざまなロボットが開発されるなか、介護や福祉の現場でも役に立つロボットが登場しています。

よりぞいifbot (イフボット)

脳を活性化したり、孤独感や寂しさを和らげたりしてくれる、会話型のユニークなロボット。高齢者向けに専用開発された、計算、なぞなぞ、記憶ゲーム、発声練習、昔のニュース、会話などが楽しめます。

価格：198,000円 (税込)

パートナーロボット
よりぞいifbot.

問い合わせは、

山梨県立介護実習普及センター

TEL 055-254-8680

FAX 055-254-8690

まで。

な機器

聞こ

(マイクロレシーバー・集音器)

聴吉 (ちょうきち)



折り畳み式でイヤホンも使用できるハンディタイプ。指向性マイクにより小さな音や高音も鮮明にキャッチします。

価格: 22,050円 (税込)



体験コーナー 開設中

今回ご紹介した福祉用具は、山梨県立介護実習普及センター(山梨県福祉プラザ1階) 展示室で実際に体験していただけます。

お気軽に
お問い合わせください。

ウォーキングで、 若さと健康を手に入れよう



足専門ドイツ式フットケア・シューズ RHYTHM(リズム)

店主 笠井 勇太



老化は足から

「私は健康で身体が丈夫」と思っている人も、年齢とともに身体機能は低下していきます。人間の体には約650個の筋肉があり、その三分の二は下半身に集中しています。また、20歳代と60歳代で筋力を比べると、上半身はそれほど変わらないのに、下半身は著しく低下していることがわかります。『老化は足から』と言いますが、下半身を鍛えることはとても重要。そこでおすすめしたいのがウォーキングです。

ウォーキングと言っても難しく考えることはありません。散歩をしたり、近所のスーパーまで歩いたり、毎日の生活の中で歩く時間を増やすだけで、とても良い運動になるのです。

「足は第二の心臓」と言われるように、足の筋肉を動かすことによって静脈血が心臓へと押し戻され、全身の血液循環が良くなります。また、足の裏にある動静脈吻合部の働きも良くなり、うっ血が解消され疲労物質が取り除かれて、細胞までが活性化します。長寿で有名な山梨県上野原町桐原(ゆずりはら) 地区やロシアのコーカサス地方などの人たちは、みんな体を動かし、よく歩いていると言います。

靴選びは、デザインよりも機能重視で。

ところで、長時間靴を履いていて、足の裏が痛くなったり疲れたりしたことはありませんか？

靴はとても大切で足に合わない靴は角質やタコ、魚の目などができたり、外反母趾のような『骨格の変形』につながったりとトラブルの原因になります。また、足の裏には、身体を支えたり、下からの衝撃を吸収したりする大切な“アーチ”があるのですが、靴によってはこのアーチがうまく機能できません。知らずに履き続けていると次第に歩き方や姿勢のバランスが崩れ、ひざや腰などに負担がかかるため、トラブルを生じる可能性も出てきます。



健康で過ごすためにはデザインよりも機能が重要です。足の裏の形状に合ったインソール(中敷き)の入った『健康靴』ならば、履き心地が良く安全に正しい歩行ができ、姿勢矯正、筋力や循環機能の向上なども期待できます。できれば一度、足と靴の専門家に相談されると、自分に合った靴を見つけやすいと思いますよ。

背筋を伸ばし、颯爽と歩く姿は、誰の目にも若々しく映ります。健康のためにも、ぜひ、自分に合った靴で、快適なウォーキングを楽しんでください。



この広報誌の作成費の一部は赤い羽根共同募
金配分金により発行されています。

福祉のご相談

心の悩みや心の病気・精神障害 に関するご相談

精神保健福祉センター

当センターは、精神科医師をはじめ
保健師・精神保健福祉士・臨床心理技
術者など精神保健福祉の専門家で構
成され、県民のみならずのこころの健
康の保持と向上、精神保健福祉に関
する知識の普及啓発、適切な精神医
療の推進や社会復帰の促進など精神
保健福祉に関する事業や精神保健福
祉相談業務を行っています。

相談内容

- こころの健康相談
- アルコール・薬物問題相談
- 思春期・青年期の精神保健福祉相
談(ひきこもり・不登校など)
- 自死遺族相談 など

事業内容

- 関係機関に対する技術指導・援助
- 精神保健福祉に関する広報・普及活動
- 精神保健福祉に関する調査研究
- 精神保健福祉に関する組織の育成
- 自殺予防対策
- 精神医療審査会事務
- 障害者保健福祉手帳及び自立支
援医療費判定業務

ご本人やご家族をはじめ関係者の
方々からの電話による相談や来所相
談を幅広く行っています。来所相談を
ご希望される方は、事前に電話予約を
お願いしております。

複雑かつ多様化してきている現代
社会で、ストレスが増加する中、こ
ころの悩みをお一人でお抱え込まないで、
お気軽にご相談ください。

■ お問い合わせ先…

山梨県精神保健福祉センター
(福祉プラザ3階)

☎ 055-254-8644

相談は無料。秘密は厳守します。

■ 相談時間…月～金曜日

午前8時30分～午後5時15分まで

社会福祉施設の運営や経営に に関するご相談

福祉施設経営相談事業

当事業は、社会福祉施設の適正で安
定的な経営と入所者の処遇の向上な
どを目指した事業です。

各法人や施設の運営に対して、専門
家による助言・指導援助・相談を行い、
社会福祉施設全般の質の向上を図り
ます。

相談内容

社会福祉法人、施設運営や経営に 関すること

- 法律問題に関すること
- 施設利用者の処遇に関すること
- 労務管理や施設職員の待遇に関
すること
- 社会福祉法人会計や施設会計・経
理・税務に関すること
- その他施設運営全般に関すること

■ 常設相談…

福祉施設経営指導員による社会福祉
法人、施設全般に関する相談。

- 月曜日～金曜日(9時～17時)

- 来所、または電話による相談に随時
対応いたします。

■ 訪問相談…

- 法人あるいは施設からの要請によ
り、専門の経営指導員が訪問しての
法律・会計・税務・労務管理等の指導
助言を行います。

- 専門的知識を有する経営指導員に
は、弁護士、社会保険労務士、税理士
を配置しています。

■ お問い合わせ先…

福祉振興課 経営支援担当

☎ 055-254-8610

相談は無料。秘密は厳守します。

イベント・ご案内

いきいき山梨ねんりんピック

だれもが健康で生き生きとした生活
を送ることができる地域社会づくりの
ために「いきいき山梨ねんりんピック
2012」を開催します。高齢者をはじめ
大人から子どもまで、どなたでも参加
できる内容となっています。

■ 日時…9月29日(土)

9時～15時 ※小雨決行

■ 会場…甲府市小瀬スポーツ公園ほか

■ 主な内容…

- 健やか健康ウォーキング教室
- ニュースポーツチャレンジコーナー
- 昔の遊び・手づくり工作コーナー
- キャラクターショー ● 芸能発表
- 市町村・小規模作業所などの展示
即売

■ お問い合わせ先…

福祉振興課 地域福祉推進担当

☎ 055-254-8610



図書 紹介

疾病や加齢により、生活に支障が生じるようになると本人も家族も自分らしい生活
を見失ってしまいます。

ある日突然心身が不自由になったことで生活そのものを見失い、あまりの急激な変
化によってどうしたら良いか分からないままに日々が過ぎていくという事があります。
しかしながら、そういった状況におかれても私たちはその不自由・不便さを含んだ上
で、それぞれに自分らしい生活を作り、個性豊かな生活を送ることができる可能性を
持っています。その可能性を実現するための一つとして、本書では主に福祉用具について述べられています。

「自分らしい生活(暮らし)を作るために」というテーマのもとに、福祉用具支援の基本的な考え方から具
体的な方法を、イラストを交えて分かりやすく紹介しています。

■ 著者(代表):市川 洵

■ 発行者:公益財団法人テクノエイド協会

この他、介護・看護・福祉についての本268冊、ビデオ188本の貸し出しをしています。
詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。 ☎055-254-8680